

令和3年度 データサイエンス・AI リテラシー教育プログラム 自己点検・評価

評価日時: 令和4年3月8日および3月16日

開催場所: (3月8日)武庫川女子大学中央図書館棟C903、(3月16日)オンライン開催

目的: 令和3年度の「データリテラシー・AIの基礎(リテラシー教育プログラム)」の自己点検・評価

評価項目: 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」

自己点検・評価の視点	評価・意見
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	<p>数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度の趣旨を踏まえ、データサイエンス・AI教育は次世代を担う学生の教養として不可欠と考え、短期大学部7学科の新入生全員に必修とした。令和3年度は、新規科目として「データサイエンス・AIの基礎」を共通教育科目として1年次向けにオンライン授業として開講した。</p>
学修成果	<p>全学必修の科目であるため、詳細な学習状況や理解度の把握のため、毎回、確認テストを実施した。その結果、得点率は毎回80%前後で推移している。また、毎回、学習についての感想を求め、学習上の困難点に努めた。これらの情報に基づき、データサイエンス学習支援ルームやデータサイエンス教育運営委員会等で分析を行い、その後の教材開発や評価方法、学生サポートの改善に反映することができた。また、全15回の授業終了後、学習全般に関するアンケートを実施し、その分析結果に基づき、取り組み全般の総括を行い、次年度の改善点を明確にした。</p>
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	<p>全授業終了後のアンケート調査において、各回の授業内容の理解度、教材や課題の適切性、Excelに関する知識とスキル、データサイエンスやAIへの関心度等に関する学生の評価を収集した。その結果、授業内容は適切であると評価され、課題の難易度・分量も適切であるとの回答が大半であった。また、授業形態(オンデマンド型授業)についてもメリットがあると感じている学生が大半であった(約95%)。自由記述の感想では、今後のデータサイエンスやAIに関するさらなる学習に意欲的なコメントも多くみられた。</p>
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	<p>本プログラムで開講する「データリテラシー・AIの基礎」は全学必修科目であるため、本学に入学すると全員が受講しなければならない。したがって、後輩学生等への推奨度については確認していないが、本科目のホームページに、受講生の声を掲載し、科目の特徴や身に付いた知識・スキルをわかりやすく紹介している。また、2023年度入学生の向けのキャンパスガイドでは、2ページにわたって本プログラムの内容を紹介し、科目の目的や内容とともに、受講生の感想を紹介している。</p>
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	<p>令和3年度より、本プログラムの授業科目「データリテラシー・AIの基礎」は全学必修科目として開講しており、同年度以降の入学者はすべて本プログラムを履修することとなる。したがって、短期大学部では令和4年度には履修率が100%になる見込みである。</p>